

日本赤十字看護学会
災害看護活動委員会交流セミナー

県看護協会として 災害支援ナースを派遣する立場から

～関東・東北豪雨、熊本地震～



平成30年3月10日(土)

公益社団法人 埼玉県看護協会

災害看護担当理事 福田 裕美

本日の内容

1. 埼玉県看護協会の災害支援ナース登録要件

2. 関東・東北豪雨の派遣状況

- ・災害発生から災害支援ナース派遣終了までの経過
- ・派遣要請後の県協会災害担当者の動き、出陣式、日程別派遣人数
- ・被災地での災害支援ナースの活動内容

3. 熊本地震の派遣状況

- ・災害発生から災害支援ナース派遣終了までの経過
- ・派遣指令後の県協会災害担当者の具体的な動き
- ・被災地での災害支援ナースの派遣場所・活動内容

5. 埼玉県看護協会の災害支援ナース派遣に関するポリシー

6. 埼玉県看護協会の今後の課題

埼玉県看護協会災害支援ナースの要件



1. 日本看護協会主催の「災害支援ナースの基礎知識」の
研修を受講 2日間
2. 埼玉県看護協会主催の「災害支援ナース:実務編の研修」を
受講 1日間
3. 地域防災訓練に参加し、学んだこと800字程度レポート提出

上記3点で所属長の許可で用紙提出 ！

※現在埼玉県看護協会の災害支援ナース登録者数**277名**

平成30年2月28日現在

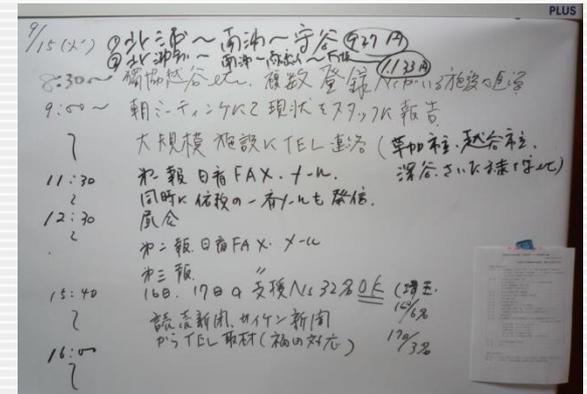
関東・東北豪雨

派遣指令後の県協会災害担当者の具体的な動き

災害支援ナースが在職している各施設へは……

- ①できれば初陣は経験者を依頼
- ②初陣は翌日出発のため、各施設看護部長に単刀直入に説明し、できる限り返答を早く貰う！→ 全員即答！！
- ③その後は、シフト表活用のメール送信にて調整
希望者をそのまま日看に提出し、派遣人数の確定を待つ。
- ④シルバーウィークの5日間の派遣決定者については、
連休前の金曜の昼に日看より連絡あり。その午後に協会担当者で手分けして派遣決定者が所属する施設の看護部長に電話し、集合時間と一泊2日夜勤のみを重点に連絡。
- ⑤派遣者の依頼公文書を出発する前に看護部長に送付。派遣がすべて終了した段階で、派遣終了の一斉メールを施設全体の送信し、お礼状を送る。

出陣式等の状況と全日程の各派遣人数



派遣日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
派遣人数	6	3	10	5	7	4	9	9	5	1

災害発生～災害支援ナース派遣終了までの経過②



9/17(木)

・群馬県・神奈川県を含め支援が6県に拡大
・日本看護協会より19日～25日までの派遣要請があり、再度県内に派遣者を募る

9/18(金)

日本看護協会より、19日～25日の7日間分の派遣者決定の連絡があり、派遣者の施設長に確定連絡

9/19(土)～9/25(金)【連休中】

派遣場所の詳細や支援活動内容のタイムリーな情報の提供・交換を実施し、連日、埼玉県看護協会より出発

**10/1(木) 災害対応レベル1
に引き下げ、隣県の災害支援ナース派遣終了**

派遣される災害支援ナースへは・・・

10時30分 協会集合オリエンテーションについて

①持ち物確認→必要時購入あるいは協会提示
例) 避難所の上履き(スリッパは×)

②集合場所・集合時間等の詳細提示

③注意事項の共有化

例) SNS、取材対応等

④出陣グループでの情報共有

2回目の派遣、感染認定看護師の支援

⑤災害支援ナースとしての心構え

できることではなく、できないことがあっても指導受けながら・・・

被災の方々からの要望・生活支援・トイレ掃除、なんでも行う覚悟！

⑥災害派遣ナース同士の情報交換の方法

個人情報・守秘義務の遵守からの共有化

⑦災害レベル3であくまでも日本看護協会からの派遣(派遣元の明確化)

日本看護協会のビブス着用し、「日本看護協会から派遣されました
埼玉の〇〇です。」と自己紹介を！

⑧派遣される災害支援ナースへのエール！！

協会担当者がしっかりと勇気づけて出発！！！！身体を大切に！！

災害支援ナースの活動内容

1. 1泊2日で10日間連日派遣（東日本大震災時は3泊4日で各県指定日に派遣）
17時～翌朝9時までの夜勤帯の支援活動
※最寄りの駅に集合し、各避難所まで手配タクシー往復

2. 1日の派遣要請数が多い（東日本大震災は、1日最高3名）最高派遣数10名

3. 具体的な支援内容

避難所での被災者の生活支援全般

夜間帯なので……

- ・夜間のトイレ介助
- ・高齢者の徘徊の対応
- ・新聞配達
- ・洗濯
- ・今後の生活等に関する訴えの対応
- ・避難所の感染管理→感染管理認定看護師の活用→読売新聞取材・掲載
- ・避難所の環境整備・清掃（トイレ掃除等）
- ・眠れない方の対応



熊本地震

災害状況と災害支援ナース派遣の流れ①

4/14(木) 21:26 熊本地震発生

22:00 県協会災害担当者間で携帯電話に
情報共有水害発生

4/15(金)

8:45 県協会で地震発生の状況を共有

- ・HPにお見舞いと現状報告(第一報)
- ・県内の災害支援ナースの所属施設に一斉メールで現状を報告(第一報)

10:05 日看より第一報

熊本県看護協会の役職員・建物大きな被害なし。今後熊本県の被害状況確認していく。同時に現時点の派遣ナース・ボランティア活動にニーズなし。

午後 日看より第二報

熊本県より正式に災害支援ナースの要請ありて、8カ所の避難所24時間体制で活動予定。災害レベル1

4/17(日)

災害レベル1にて第一陣が派遣。

4/20(火)

災害レベル2に変更

福岡、宮崎からの災害支援ナース20人
×4日間
延べ80人派遣

4/22(金) 災害レベル3に変更

交通事情を勘案し、当面は熊本空港にアクセスの良い関東・近畿ブロックの県協会に順次依頼予定。

4/29(土)~5/29(日)3泊4日 11日間
埼玉県より3泊4日4名ずつ計44名の派遣開始

6/1(水) 派遣者44名無事終了

派遣指令後の県協会災害担当者の具体的な動き

派遣される施設の看護管理者には・・・

- ① 提示された日程と派遣依頼人数が明確だったため、ランダム希望者を募らずに、各施設看護部長に4月22日の夜に一斉メールで月曜に電話を入れるので派遣できる日程と名前の提示を依頼。週明けの25日の一日かけて、施設に電話かけて原則即答いただき、11日間44名をほぼ決定。

なぜならば・・・

※1, 同日程に希望者が重複する場合の調整を考慮

※2, GWに自分が派遣されるのかどうか

※3, 翌月の勤務表の調整をしなくて済むように

※4, 日看の航空券名前登録が早くにできるように

- ② 災害支援ナースの食事・水分は自己管理 当たり前！ ※その後も継続！！
- ③ 飛行機・タクシーなどは日本看護協会がすべて手配！
- ④ 日看の派遣前の情報提供が具体的！
- ⑤ SNS、写真撮影、報道の関する注意、1か月後の心のケアの必要性情報 など
県協会出陣でないため、出発前日に詳細決定の電話連絡（携帯電話番号確認を含む）
- ⑥ 羽田空港にも、県協会災害担当者が必ず顔を見て見送る。必要時追加伝達する。
- ⑦ 派遣翌月に、振り返り会・デブリーフィングを実施し、41名が出席。

災害支援ナース派遣場所

- ①宇土小学校
- ②小川総合文化センターラポート
- ③阿蘇市農業環境改善センター
- ④一の宮小学校
- ⑤西原村立 山西小学校
- ⑥南阿蘇中学校
- ⑦阿蘇中学校
- ⑧嘉島町子育て支援センター
- ⑨西原村立 河原小学校
- ⑩甲佐中学校
- ⑪御舟小学校
- ⑫大津町総合体育館
- ⑬大津町老人福祉センター
- ⑭高木小学校
- ⑮宇土市保健センター
- ⑯阿蘇西小学校
- ⑰阿蘇くまもと空港ホテルエミナース

- ⑱若葉小学校
- ⑲嘉島町 町民体育館
- ⑳久木野総合福祉センター
- ㉑甲佐町総合保健福祉センター
- ㉒益城町公民館 飯野分館
- ㉓益城町公民館 福田分館
- ㉔特別養護老人ホーム いこいの里
- ㉕益城町公民館 津森分館
- ㉖特別養護老人ホーム シルバーピア
さくら樹
- ㉗花園小学校
- ㉘豊野公民館
- ㉙綱津小学校
- ㉚高森町総合センター
- ㉛当尾小学校
- ㉜甲佐州学校
- ㉝不知火公民館
- ㉞御船中学校
- ㉟西原村立西原中学校
- ㊱西原村構造改善センター
- ㊲本田技研体育館

災害支援ナースの活動内容

① 3泊4日 全日活動

② 主な支援活動

- ・生活支援全般（入浴介助、トイレ掃除など生活環境整備も含む）
- ・血圧測定、健康状態の問診等 熱中症予防対策、
- ・訪問診療の同行、けがの応急処置 など
- ・こころの支援（後半）と自助

※避難所開設は入所者の把握（名簿作成・健康状態など）

6. 埼玉県看護協会の 災害支援ナース派遣に関するポリシー



1. 自己完結、自己責任

※福田の失敗例→水分・食糧???

[県協会の災害マニュアル参照](#)

2. 情報は自分でとる。また、現地に行く前にとった、あるいは貰った情報は一番古い。情報収集力だけでなく、むしろ工夫力や臨機応変力を養う

※福田の失敗例→長靴？

3. できる限り、毎回派遣される災害支援ナース顔を見て出陣。

※工夫をその都度で共有→フランスパン、野菜？

情報提供より追加内容の共有。

4. 当協会で実施している研修の成果と協会が作成したマニュアルを主軸にした災害支援活動の実施。

5. 埼玉県看護協会の今後の課題

1. HPと災害派遣ナースが在職している各施設への適宜の情報提供
2. 災害支援ナースへの具体的なオリエンテーションの徹底
※書面・電話対応等
3. 県協会が準備する各個人所有の災害物品の検討
※ヘルメット・シート等 **購入済**
4. 派遣できなかった災害支援ナースへの対応
5. 災害支援ナースの在職している各看護管理者への情報提供と協力依頼等
※派遣依頼の返答に関する緊急判断の必要性、災害連絡メールの重要性の共有
6. 災害支援ナースとしての意識の共有化
※他県等の比較はせず、自己責任・自己完結の捉え方等の共有
7. 自県で災害発生した場合の災害支援活動のシミュレーション教育の検討
※避難所支援だけでなく、医療施設への支援についても受け入れについての研修の実施。



**関東豪雨にも派遣された
ベテランの支援ナース！！**

**3泊4日でこの
荷物注目！！**

**日本看護協会の災害担当久保さんより、真剣にオリエンテーションを受ける災害支援
ナースたち！！そして…坂本会長も真剣に助言？？ ぼそっと、坂本会長が・・**



坂本会長の激励されてガッツポーズの新人災害ナースたち！！



がんばれ! ニッポン

沖縄方面
OKINAWA AIRPORT

航空券ご購入・チェックイン・マイル登録・領収書発行
Ticketing, Check-in, registration & Receipt publication



関東豪雨の際に派遣された災害支援ナース 凛々しい、頼もしい第一陣 ！



埼玉県看護協 災害支援ナース
本人の承諾を得て掲載しております



ご清聴ありがとうございました